時事新報

朝鮮の改革委員

朝鮮よりの近報に據れば彼の政府は大鳥公使の要求を容れて政令改革の議に決し既に其委員を命じたりと云ふ人事の雨や進みたるを見る可きが如くなれども我輩は此報道に重きを置かざるものなり日本國の威力を以て彼の政府に臨む何事か聽かざるものあらんや我要求に對して彼に異議なきは分り切たるのみにして今更ら怪しむにも足らず驚くにも足らず要は只其實行の如何に在るのみ或は既に委員を命じたりと云ふ其委員には如何なる人物が當りたるや知る可らずと雖も朝鮮政府目下の有様より推測すれば何れ閔族の一類か然らざれば其徒黨を受けて表面の責に任ずるものなる可し我輩の竊に聞く所に據れば彼の王妃の如きは死力を以て外戚の勢力を維持せんとし既に閔泳駿の始末の如きも内外の非難にも拘はらず身を以て之を庇ひいよいよ泳駿を退けんとならば先づ我が頭を斬れと迄に物論自由の間に顏をして動かず遂に免職の事も行はれずして止みたる程の次第なりと云ふ其誠意の程、想見る可し左れば今回の委員とても何れ閔族事中の坑存物にあらざれば實際の若干は迚も覺束なし只我要求に對して止むを得ず表面の儀式上に委員を命じたるまでのみことにして改革の實行を見るが如きは到底覺束なかるべし我輩は此報道に就て一毫の價値をも感ぜざるものなり我當局者に於て果して實際に改革の事を成さんとならば表面の儀式は兎も角もとして實々の間に無限の手段を盡し時に或は意表外の大英斷を施して遠慮なら以處に在て切込み一時の間に大事業を成して以て我朝野の人心を滿足せしめんこと我輩の特に冀望する所なり●

雜報

○朝鮮の改革委員　一昨夜朝鮮京城より其筋に達したる電報は左の如し
朝鮮政府は大鳥公使の要求を容れ改革取調べの爲め委員を設くる事となり既に其任命ありたり

○革新黨の新候補者　同黨は前代議士の外新候補者四十九名位を出す豫算なりと

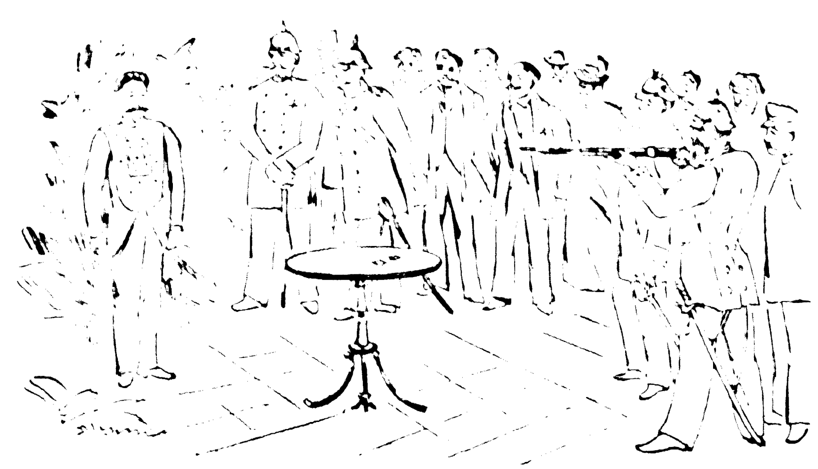
○東京辯護士會の議案　本日神田錦輝館に於て開會する東京辯護士會の議案は左の如くなりと
會員第二十六條改正案
第○條　當該事件の訴訟を受けたる辯護士は之れに不同意を述ぶべき事
第○條　當事者が同一なる事件に付き同一の辯護士を用ひて訴訟を行ふことを得ず
第○條　訴訟事件の依頼をてくるが爲めに周旋人を雇入るることを禁ず
第○條　會員は相當の事由なくして其依頼を拒むべからず
決議案
第一　辯護士職務の範圍又は職務上の文字
第二　訴訟代理の委任及び費用等の事
第一及び第二に關する件は會則第二十六條の制限を以て之を決議し置くものなり

○新發明見動器　有名なる米國の發明者エヂソン氏は此程見動器なる新器械を工夫したり此器械は人を見る器械なり都て動く者を其運動中に寫し取り時を經たる後其運動を元の通りに再演して觀者の眼に供するを以て目的とするものなりエヂソン氏の發見に據れば凡そ運動中の物品を寫し取るには極めて速に數回、續けて寫眞に取り置き此寫眞を同一の速力を以て順々に人の眼に觸れしむるときは其人は恰も寫眞中の物品が動きつゝあるかの如き感覺を起す可しと而して通常人は一秒時間に凡そ四十回の寫眞を見ることを得べしと云ふエヂソン氏は此發見に基きて一の寫眞器械を造り車仕掛にて極めて速に數十枚の寫眞にて取り得る様に爲し又此寫眞を以て同じ速力を以て眼の前に繰出す器械をも造りたり之を名けて見動器と稱し色々の場合に試用したるに其結果、實に驚く可きものありしと云ふ觀者を一尺四方の箱中を覗かしむるに觀者ありて笑ふ者あり怒る者あり泣く者あり其眞に迫りて一瞬も目を離す可らざる者の如しと云ふ

…(以下、文字不鮮明)

○文部省令に就て當局者の說明　文部省にては昨日省令第十五號を以て高等學校の學科設置に關し同十六號を以て修業年限及び入學程度に付ての規定を發布せられたり就ては當局者の說明する所を聞くに高等學校に法、醫、工の三部を設けたれども法、醫の二部は是迄にて已に設置しあれば今更新設する譯にもあらず工部を設けたるは關西地方に於て極めて急須の學科たるに由る其他第一、第二、第四、第五に於ては從來の如く醫學部及び大學豫科を存置せしは經費の點より然らしめたるのみ又今回大學豫科を二年とせしは是まで尋常中學校より入て高等中學校を卒業する者の大半は定期の三年よりも一年又は二年を延期するの形跡あるより三年と定めたるなりと云ふ

○新發明奇代の鎗　今の世を文明世界と云ふと雖も野蠻時代の遺風は未だ消滅せざるのみか國と國との間には互ひに其爪牙たる兵隊軍艦を增加し機會あれば之を用ひて血の川、骨の山を築出さんとするもの比々皆是なり殊に歐洲列國の如きは風雲、旦夕に測られず何時如何なる事變の起るやも知るべからず各國の軍備は何れも同時に新式に依りて其一新を爲すと同時に内に在ては軍隊の精鋭を加へ外に向つては國勢を張らんとするもの少からず皆な心を軍事に傾注して以て相競ふものの如し此時に當つて世界の軍事社會を驚かすべき武器は如何なる者かと云ふに獨逸人ドーウェ氏の發明したる避彈衣なりと云ふ



ものは如何なる鋼にも敵彈にても其身に達するを禦ぐを得べしと云ふ發明以來今日に至るまで屢〻試驗して既に其間違ひなきを證したる中に最近の試驗は去る六月七日倫敦のアルハンブラ音樂館に於て立會の英國武官は勿論聞くものをして一驚を喫せしめたり當日發明者ドーウェ氏は自ら其胸當てを着け佇立して的となり英國の陸軍佐官マーチン氏銃を執て之を射撃せしが氏が此時用ひたる銃は便利なるリー、メットフォード施條銃にて其彈丸は千ヤードの距離に於て五人を貫通するに足るべきものなり然るに發砲して共に的を貫るゝを能はざりしのみならず的其物たるドーウェ氏は倒れもせず又た傷も負はず平然として少しも騒がず爾來之を小銃を以て容赦なく射撃したるに敢て動搖もせず彈丸は其物の彈丸を防ぐに足るのみならず縛られ事も無く…

…(以下、文字不鮮明)

○徳川從一位の葬儀　は本月十五日午前

○蠶及實況視察員の出張　農商務省にては今度蠶業試驗所の技師をして…

○二郡聯合農談會　千葉縣下印旛郡及び…

○水馬演習　陸軍士官學校の學生は…

○東京府廳の移轉　東京府廳は來月廿九日…

○春木座の割役割　明十四日午前九時より開場する春木座の狂言は…

○歌舞伎座　…

○明治座　は各新聞紙上に廣告せし如く十四日午後…